

## 市民生活・環境関係

件 名	市民活動の活力向上
内 容	<p>ボランティア活動は転機にさしかかっていると考えます。高齢者は増加し続けていますが、最近では将来に備えて70歳まで就業する人が当たり前になりつつあり、これまで地域活動に参加してこなかった男性の引きこもりもあり、結果としてボランティアの高齢化が進んでいます。団体間の連携もそれぞれの持つ「歴史と理念」が邪魔をして、簡単には進まないのが現状です。</p> <p>まちづくりサポートセンターも開設されて表面上は前向きに進んでいるように見えますが、先進他市並みな活動が出来るまでに3年は必要との事で、前述した課題を解決して行く中心としての活動はまだまだ出来ていないと感じています。まずは、オープンに多数の市民が集える場とするべきでは無いかと感じていますが、その視点ではサポートセンターは入口も狭く、閉鎖的な造りとなっており、通りがかった人が気軽に立ち寄る雰囲気ではありません。他の各課のカウンター前が通路に対してオープンスペースであるのと異なり、何故この様な構造としたのか疑問に感じています。</p> <p>改善すべきポイントと重要なのは「市民が気軽に立ち寄り」、「オープンなスペースで情報交換」しやすい環境作りをする事では無いでしょうか？</p> <p>どうすれば市民活動の活性化や市民交流を活発に出来ると考えられているのかをお伺いしたいと考えます。</p>
回 答	<p>まちづくりサポートセンターは、市民活動をつなぐ、広げる、市民主体の協働のまちづくりの拠点となる中間支援施設を理念に掲げております。</p> <p>以前は、市民活動推進センターとして白井駅前センター内に設置していましたが、駐車場が狭いことや出入り口がわかりづらいことなどの課題があったことから、市役所の庁舎建設にあわせて移転したものです。</p> <p>市役所の庁舎建設にあたっては、学識経験者、公募市民、団体代表などで構成された庁舎建設等検討委員会で基本計画、基本設計、実施設計などを議論し整備してきており、まちづくりサポートセンターも検討委員会で検討されたものです。</p> <p>まちづくりサポートセンターは、ガラス面に仕切られ各課のカウンターのようなオープンスペースにはなっていませんが、打ち合わせや情報交換している光景が外から見えるつくりになっているとともに、ガラス面の一部を有効活用し、団体活動の情報発信をしています。</p> <p>市役所は土日休庁である中、まちづくりサポートセンターは開館することになり、施設のセキュリティ面や市民の利便性を考慮した施設ですので、御理解をいただきますようお願いいたします。</p> <p>御指摘のように市民活動の活力向上のためには、まちづくりサポートセンターに市民が気軽に立ち寄り、情報交換しやすい環境をつくっていくことは大切であると考えています。</p> <p>市民活動の活性化や市民交流を活発にしていくためには、市民活動の裾野を広げていくことが大切だと考えております。そのために、コーディネーターが様々な人や団体をマッチングする機能を担っており、団体や市民のニーズを把握し、分析を</p>

	<p>積み重ね、アンテナを高くしてコーディネートしていくことが肝要であると考えています。また、市民のマッチングに向けて情報収集を続けていくとともに、事業展開の中でも、広い視野で共通課題をテーマとした交流の場を設け、まちづくりを担う方々のニーズに応えながら、まちづくりサポートセンターの理念の具現化を図っていきます。</p>
--	---

件名	災害時、避難所体験提案
内容	<p>先日の台風15号、19号を経験し、SNS上ではペットと一緒に避難問題や避難所の在り方が話題になっています。</p> <p>避難所経験がない人が前もって避難所体験するのは、今後災害が起こった場合に必ず役に立つと思うのですがいかがでしょうか？</p> <p>月に1度・2度の1泊～2泊の体験を繰り返すことで何が問題になるのか、何が必要になるのか、市として何を準備すればいいのか等見えてくると思います。</p> <p>参加者も繰り返し体験して避難の際に必要な物、避難所でのストレス回避にはどうすればいいのか等知れることは沢山あるはずです。</p> <p>いざという時に必ず役立つ体験と思うので是非、市の方で提案して頂ければ幸いです。</p>
回答	<p>市長への手紙をいただきありがとうございます。</p> <p>日頃より、当市の防災行政運営につきまして、御理解・御協力をいただきありがとうございます。</p> <p>さて、異常気象による自然災害や大地震による災害は、いつ起きても不思議ではない状況にあり、防災に対する意識は年々高まっております。</p> <p>こうした防災に対する意識の向上から、桜台小学校区と池の上小学校区においては、既に体育館への宿泊などを体験する防災リアル訓練を開催しています。</p> <p>第三小学校区でも毎年、自治連合会第三小学校区支部の皆様が企画・運営を行い、防災訓練を実施しておりますが今回、御提案いただきました避難所体験については、来年度以降の防災訓練の取り組みの参考として自治連合会第三小学校区支部へお伝えさせていただきます。</p> <p>最後になりますが、90の自治会長等で組織される自治連合会では、防災に関する機運の高まりから避難所運営ゲーム（HUG）を中心とした避難所の運営を学ぶ講座を実施しますので、ぜひ御参加いただければと思います。なお、詳細につきましては、来年1月頃に市のホームページでお知らせいたします。</p> <p>この度は、貴重な御意見をありがとうございました。</p> <p>○実施日 令和2年1月18日（土）13:00～</p> <p>○場所 白井第一小学校体育館</p>

	<p>※避難所運営ゲーム（HUG）とは          避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したものです。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。          （関係課：市民活動支援課、危機管理課）</p>
--	---

件名	災害対応について
内容	<p>近日、千葉県に台風被害が度重なっており、特に水害については各報道のとおり深刻です。駅周辺、主要道路の水はけが悪い所があるので大災害を未然に防ぐべく、整備してもらいたい。</p>
回答	<p>市長への手紙をいただきありがとうございます。          日頃より、当市の行政運営につきまして、御理解・御協力をいただきありがとうございます。          御指摘をいただいたとおり、今回の台風や大雨の際には駅周辺の道路等で冠水が発生しております。          冠水の主な原因としては、落ち葉やゴミ等が排水口を塞ぐといったことが多いことから、台風などにより大雨が予想される際には、事前に冠水しやすい箇所の排水口を掃除するなど、冠水の未然防止や早期解消に努めているところです。          また、土砂等により排水が阻害されている側溝については、必要に応じて業者に委託し清掃するなど随時対応しています。          しかしながら、今回の台風のように予想を遥かに上回る雨量により、排水や対応が間に合わず一時的に冠水等が発生し、皆様に御迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、今後も引き続き道路の破損や冠水等でお気づきの点がございましたら、御意見等賜りますようお願いいたします。          この度は、貴重な御意見を頂きありがとうございました。          （関係課：道路課）</p>